



ひがしいずようちえん

- 職員室だよ！ -



ひがしいず幼稚園 R 5・11・9

優しいお兄さん、お姉さんと…

下田高校・稲取高校の1年生が保育実習で来園。お兄さんやお姉さんの手を引いて各お部屋やいろいろな遊具で、一緒に楽しく遊ぶ様子が見られました。また、高校生には、デカパン競争や帽子取りなどお家の人の役になり子どもたちと体をたくさん動かしてもらいました。

お別れの会では、下高生はシルエットクイズを、稲高生は絵本の読み聞かせをしてくれました。高校生に実習の感想を聞くと「初めは不安だったけど、手を繋いだり遊んでくれて嬉しかった」「一緒に鬼ごっこをして楽しかった」「可愛かった」など充実した実習になったようでした。

子どもたちも大きなお兄さんやお姉さんに甘えたり、思いっきり遊んでもらったり…と、とても楽しい時間を過ごし、別れを惜しんでいました。

また、どこかで会ったら声をかけ合えるといいですね。



おさかなって、おもしろいね！



食推さんとNEXTさんによる“魚を知ろう”が行われました。「静岡県はどこにある?」「東伊豆町の特産物は?」「キンメはどうやって釣るのでしょうか?」などの質問に思いつくことを発表していく子どもたち。静岡県、東伊豆町で取れるもの、それらを消費していく『地産地消』についてのお話を聞きました。そして、お待ちかねの魚に触れる時間!大きな発泡スチロールの箱の中から何が出てくるかキラキラした目で見てみると、「キンメ」「サバ」「シイラ」「カマス」「ヤガラ」「たこ船&タコ」…といろいろな種類の魚が出てきました。初めて見る魚もいて子どもたちも先生たちも大興奮。魚を触ったり、持ち上げたり、「ツルツルしてるね」「ザラザラだ」「ブニブニしているよ」「とがってるよ」と感触を味わっていました。そしてヨッシー先生(そうりゅうくんのお父さん)が華やかな包丁さばきでキンメやカツオを三枚におろしたり、こけら(ウロコ)を落としたり、皮をはいたりして、みんなが知っているお刺身の形に切ってくれました。魚が住んでいるところ、釣り方、感触、お刺身になるまでを教えてもらい、更にお味噌汁までいただき、地産地消と魚を知るとっても良い機会になりました。この体験を通して、地域の「食」をがんばって守り育てる心が育まれたことと思います。



NEXTさん、食推さん…ありがとうございました。



静岡県の特産物のお茶。殺菌作用もあるので、たくさん飲んで風邪を引かない体を作りましょう!



人形劇の世界に引き込まれて…

劇団プークの人形劇。「みにみに劇場~さる・る・る・る」では、いろいろな動物たちのやりとりが楽しくて子どもたちもいつの間にか話の中に入り込んでいました。「こだぬきぼんとこぎつねこん」では、登場人物に思いを寄せ「お友達になれてよかったね」と一緒に喜んでいる様子が見られました。

翌日からは、自分たちで人形を作り人形劇ごっこも始まり、内容を再現したり、自分たちでセリフを考えたりなど、表現することを楽しんでいます。幼稚園の人形劇団の公演が行われるのはいつかな…楽しみです!(笑)



緑の隠れ家が出来たよ!

自然で遊ぼうのパポでは、みんなの広場に竹を組み合わせたテントが3つ。そのテントに大きな葉っぱやツル、花、松ぼっくり、幼稚園の周りですった自然物なども飾りつけ、隠れ家を作りました。

完成図がイメージできなかった子どもたちもツルや葉っぱを運び、飾り付けていくうちに「楽しい」「ここにカギを置くところも作ろう」「こんな飾りはどう?」と次々に考えを出し合い、「いいね」「私も…」と友達の思いを受け入れながら隠れ家が出来ていきました。出来上がったテントはどれも素敵☆それぞれのおすすめポイントを伝え合い楽しい時間が流れていきました。自分のイメージしたものがどんどん形になっていくうれしさ、友達と一緒に一つの建物を作り上げる達成感を味わうことができました。



休み明けの月曜日「続きをやりたい!」「これも飾りたい」と子どもたちにとってお気に入りの場所になっていました。

参加してくれたお母さんたち、楽しい遊びをありがとうございました。



ススキと青空と子どもたちの楽しそうな声…

今年はいつまでも暑い日が続いていましたが、やっと涼しくなりお散歩に出かけるには気持ちのよい時期となりました。

先日、園バスに乗って稲取の細野高原に出かけました。ススキの小道を歩いていると、ススキや栗、ドングリ、お花、カマキリ…いろいろなものが見つかりました。沢の近くでカニを発見!「なんでカニがいるんだ?」「カニ、食べれるんだよ」「でも、もっと大きかったけど…」と何気ない会話も可愛かったです(笑)広場では「転がりたい」と一人が言い出すとみんなが芝生の上をゴロゴロ…ととても気持ちよさそうでした。広い野原を思いっきり走りまわったり、転がったり…楽しい時間を過ごしてきました。今度は、お弁当をもってお出かけしたいね。

